



平成 28 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 光  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 金 森 武  
(コード番号：3160)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 山 大 介  
兼 総 務 部 長  
( TEL. 0584-89-7777)

たな卸資産評価損の計上及び  
平成 28 年 5 月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月期におきまして、下記のとおりたな卸資産評価損を計上するとともに、平成 27 年 12 月 25 日に公表いたしました業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上

連結子会社である株式会社マリンドリカが保有するたな卸資産のうち、収益性が低下した商品について、たな卸資産評価損 1 億 10 百万円を売上原価に計上いたします。

2. 平成 28 年 5 月期通期業績予想との差異

平成 28 年 5 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日)  
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	54,700	810	825	465	78 円 53 銭
今回実績(B)	53,824	816	831	387	65 円 44 銭
増減額(B-A)	△875	6	6	△77	
増減率(%)	△1.6	0.7	0.8	△16.7	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 5 月期)	49,884	565	556	213	36 円 14 銭

差異の理由

営業利益、経常利益につきましては、上記 1. に記載しました、株式会社マリンドリカにおいてたな卸資産評価損の計上等があったものの、株式会社大光の業績が順調に推移したため、予想を若干上回る結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、たな卸資産評価損の計上に加え、アミカ立川店(東京都立川市)における固定資産の減損損失 55 百万円、アミカ町田忠生店(東京都町田市)の撤去工事費用等の店舗閉鎖損失 7 百万円の計上等により、業績予想数値と実績値に差異が生じることとなりました。

なお、平成 27 年 12 月 14 日付「特別損失の計上及び平成 28 年 5 月期第 2 四半期 業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、横浜支店（横浜市青葉区）における固定資産の減損損失 65 百万円、アミカ町田忠生店における固定資産の減損損失 33 百万円及び店舗閉鎖損失 7 百万円に、上記に記載しました減損損失 55 百万円、店舗閉鎖損失 7 百万円を合わせた特別損失の合計額は 1 億 69 百万円（減損損失 1 億 54 百万円、店舗閉鎖損失 14 百万円）となっております。

以 上